

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 62

NAOHARU TODA

OGAKI CHAMBER OF COMMERCE
KURUWAMACHI OGAKI GIFUKUEN JAPAN



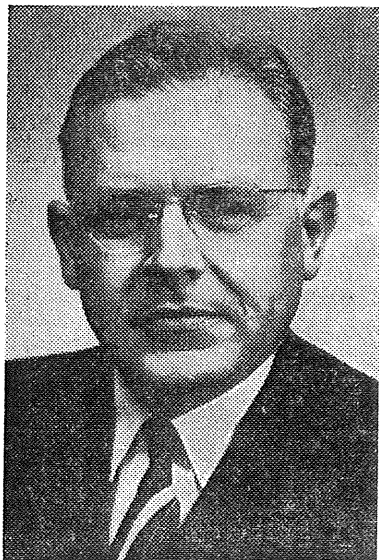
NO.10

昭和32年2月15日 (February, 15, 1957)

第62区ロータリークラブ

会長並びに幹事殿

国際ロータリー 戸田直温
第62区ガバナー



George R. Means

国際ロータリー幹事ジョージ アール ミーンズ氏 (George R Means) はロータリアン誌2月号にロータリーの相対性と云う題で寄稿されて居ります。ロータリアンとして大に銘記すべき点多々ありますから、之れと簡単に次に要訳致します。

ポール ハリス は「大河は直に成るに非ず数百 数千の小溪、細流山を下り 野を流れて川をなし遂に大河と成る。ロータリー亦之れに似たり。各地 ロータリアンの己れを空しうしての奉仕がロータリーを育成せるものなり」と。実にロータリアンの個人的又は 集团的の奉仕活動は即ち社会の改善、相互の理解、実業等の規準の昂上を促す偉大なる力となつて湧き上つて来るのである。此力はロータリーに益加入して来るロータリアンに依つて 彌増大されるのである。併し此力は加入せる会員が真にロータリーの精神を解し各人各人が個人的に 其責任を自覚して働き其責を果すに非れば 無意味で何の力とならず、細流も真の大河とならないのである。ロータリーの真の力はクラブや会員の数又は例会と重ねる事ではない。完全に理解せる各個人の心に真に訴ふる何者かに 存するので

○ ロータリーの相対性

(Relativity of Rotary by George R.Meens)

ある。故にラング会長の警告を吾々に発して曰く「大と云う事には危険を含む。吾々はウツカリして居ればロータリーの精神を失ひ易いものである」と誠に宣べなりと云うべきである。

古代バビロン帝国、アレキサンダー大王の帝国及びジンギスカンを追想せば思半ばに過ぎん、バビロンの文明は今埋れて考古学者に資料を提供しアレキサンダー大王の偉業は希臘より印度まで及び羅馬の榮華は地中海辺に輝いた。又ジンギスカンは東洋より歐洲まで席捲した。然し之等は只実に偉大と云うべきものであり多くの人民に忠誠をのみ誓はしめたが其大なる力と形に依つて現るゝある重要なものを握む事を忘れた。即ち此偉大さの新事実には精神的に対応する事を怠つた。此教訓はロータリーにも適應するものである。吾々ロータリアンは各職業分類に依り現代文明の断面を示すものであり加入せる国は將に百ヶ國に達せんとして居る。此事実に対し吾々は國境に依り相互の理解を制約せられては居ないか。或は毎週の例会の眞面を認識して居るか。吾々は其時々及び其地域の重要な事項に常に対処して奉仕して居るか。或は大なりと云う事の危険は個人責務の重要さが萎縮して居る事を悟つて居るか。吾々ロータリアンは実に之等の事を真剣に反省して見る要がある。

大と云う事に就き真剣に考案して見よう。吾々が吾々の組織が大ききものである事を誇る様な気が起つた時には只大きいと云う事は單に相對的のものであると云う事を想ひ起さねばならぬ。438,000のロータリアンの数も世界の人口25億に比べれば数としては小さなものである。吾々の力は單に数に存じて居るのではない。又偉大(Greatness)と大きい(Bigness)とは自ら異つて居る事を心に留めなければならぬ。ラスキン(Ruskin)も曰く「小さな事でも之れに或る勢を付け加へれば偉大なものになるものである」と

故にロータリーの偉力、其實效、各ロータリアン個々の寄与奉仕に依る基幹、各々のみが單獨に為し得る貢献、之等は其処世に於ても生活に於てもどんなに強く又多く行つても過ぎると云う事はない。吾々の偉大さは各地のロータリアンの夥しき己れを犠牲にしての奉仕貢献に常

に存するものである。

ジョージ アール ミーンズ氏は1953年1月に國際ロータリー本部の幹事の職に就き爾來常に國際ロータリー本部の最高の事務執行者で其敏腕を振つて居る。本部所在地のエバンストンロータリークラブの正会員であつて其生地ブルーシントン及び東京ロータリークラブの名誉会員であり吾國には最も親しみ深いロータリアンである。吾々は同氏の吾國への再遊を待望して居るのであります



Paul P. Harris

○ ロータリー第52回記念日 (Rotary's 52nd Anniversary)

2月23日(土曜日)はロータリー第52回の誕生記念日であります。1905年頃の米国シカゴ市は不況のどん底に陥り、悪は街々に瀰漫して其権化とも云うべく実に醜惡を曝らした都市でありました。敢然として之れに対抗し之れと闘い世を救はんとして立ち上つたのがポール・ピー・ハリス(Paul P. Harris)其人でありました。「私はふと思ひ立ち独りで1905年2月に三人の若い実業家と会い、お互いの協力、規則ばらない親睦など管て村に住んで居つた時分よく行つて居つたような極く簡単な事を「実行じよ

うと相談した所皆此私の申出でに賛成して呉れた。」とハリスは述べて居ります。斯くして2月23日にロータリーが創られたのであります。此4人は金持ちでもなく一流の実業家でもありませんでした。斯くして創られた集りは各廻り持ちで其会合を開く(Rotate)事にしたのでハリスは之れにロータリー(Rotary)と名を付けました。お互いに援け合う事、親睦を厚くし又各職業を異にする事に共鳴者が漸次増加して行きましたがハリス外同志は相互に奉仕をする事に楽しみと喜びを益覚ゆるに至りました。之れが今や第52年目を迎へ其会員の数438,000名、参加国は99と云う偉大なる發展を遂げました。各会員は己れを空しうして奉仕に友好に、善意に、身を捧げて居るのであります。ポール・ハリスは曰く「ロータリー生誕の日2月23日ロータリー暦に於て最も重要な祝日である。此生誕日を祝賀することこそ会員がロータリーに対して其真性を發揮し、其信念を更新鼓舞する最良の手段である。此誕辰を知り、之れを想う時に云い知れぬ靈感が湧き起つて来るものである」と、將に其通りであります。各クラブは此日が例会に当つて居れば会長は特にロータリーの歴史及理想精神を簡単に述べて此日を祝い又ラング会長の三つの指導目標に対し誓を新たに於て会員を鼓舞して頂きたい。又各クラブに於ては地方新聞等に対してロータリーの歴史、目的、各種の活動状況及びロータリーの奨学資金等の広報に努めなれる様特にお願い致します。

○ ハーバート ジェー テイラー氏よりの 礼状 (Letter from Herbert J. Taylor)

昨年地区大会にラング会長代理として来日 出席せられましたハーバート ジェー テイラー氏より 次の様な御礼状が参りました。グローリアと私が大に盛大であつた貴地区大会に出席する事が出来たのは 実に私共の仕合せであつた事を特に申し上げたいと存じます。誠に大会中は非常に楽しく 又御懇情を承けました事を厚く御礼申し上げます。又実に美しい立派な記念品を頂戴して皆様の御芳情真に有り難く、帰りました早速自宅の国際室に飾つて友人に自慢して見せて居ります。

貴地区大会は非常に成功で816名が登録されて開会の節には700名を超えた出席数であつたのには特に私は感銘致しました。各委員会を廻り感じましたのは奉仕の四大部門に付非常に熱心に討議せられて居る事でありました。貴国の何れに参りましても日本の方はロータリアンであると否とを問はず実に友情に厚いものを見、且凡てが獨創的で又生産的であるのに感激致しました。四つのテストは何処に於てもよく実效的に用ひられ居るのを感謝する次第ですが必ずや尚々多くの學校に於て利用されるものと存じ又希望致します、茲に謹んで貴国を旅行致しました際に賜りました御親切に対して重ねて厚く御礼を申し上げます。

○ ロータリーの伸展 (Extension of Rotary)

ロータリーの發展伸長の為めに内部的にも 外部的にも其実を挙げねばなりません。之れに対して会員の増加、附近の地域に新クラブの結成に努むるは勿論ではありますが本部理事会としては人口十萬位を標準として之れ以上の都市では其地域内に第二クラブを結成する事を更めて奨励して参りました。以上の如きクラブでは是非第二クラブの結成に御努力を願います。

○ 第62區の區域變更 (Re-Grouping of clubs in District 62)

昨年10月の第62區大会で神奈川県及び山梨の兩県を新設の第355區に移す事を議決、此旨 RI 本部へ申請しました。之れに基き RI 本部、本部地区委員会は国際ロータリー細則第11条1項に依り現在の第60區及び第62區の境界地域を1957年7月1日より次の如く変更する事に議決しました。即ち

第350區、北海道及び本州中山形、福島の兩県を含む東北六県。

第355區、山形と福島兩県の西南県境に接する地方、並に新潟、埼玉、山形及び神奈川の各県を含む東部地方。

第360區、新潟、埼玉、山梨及び神奈川各県の西部県境に接する地方、並に石川、岐阜及び三重の各県を含む

地域より東部地方（長野、静岡、愛知、岐阜、三重、富山及び石川の各県）

即ち本年7月1日以後は当地区は第360区となり山梨、神奈川の両県は第355区に移り、当地区の区域は長野、静岡、愛知、岐阜、三重、富山及び石川の7県となります。之れで昨年10月の横浜に於ける第62区大会の地区変更に関する決議は R.I. 本部の地区委員会で容認されました。

○ 1957-58国際ロータリー会長

(R.I. President in 1957-58)

1957-58 年度に於ける R.I. 会長には チャールス ジー テネント氏 (CHARLES G. TENNENT) を会長指名委員会は満場一致で指名したとの報告が各クラブへ指名委員長データス イー プロパー氏 (Datus E. Proper) より已にあつて承知されて居ると思います。チャールス ジー テネント氏は米国ノース キャロライナ州 アッシュビル (Asheville North Carolina, U.S.A.) クラブの会員で嘗て地区ガバナー R.I. 副会長を勤め職業分類は園芸でテネント育苗場主であります。

○ 小林雅一氏1957-59 R.I. 事理に

(R.I. Director 1957-59)

小林雅一氏は R.I. 本部の理事会で本部の理事に任命されました。任期は1957年7月1日から1959年6月30日迄の二年間、前に日本からは手島知建氏が R.I. の理事に2年間就任されました今回小林雅一氏が本部理事に指名されましたのは実に日本としての誇りであり名誉であります。吾々日本のロータリアンは一層ロータリーの精神に基き 奉仕の実を挙げ 目的を達成せねばなりません。茲に小林雅一氏に対して衷心より慶祝申し上げます。

○ 次期役員選挙

(Election of Officers 1957-58)

次期会長幹事、理事等の選挙に付いては前月の月報で申し述べて置きました。又 R.I. 会長ラング氏からも各会長宛ての年頭の辞に添えて注意を促されて居りますから已にそれぞれ会長、幹事等の次期の候補者に付いては選

定せられて居る事とは存じますが本年の地区協議会は4月2-3日名古屋で開催する事に決定して居りますので遅くとも3月早々には選挙決定の上当ガバナー 事務所へ御報告を願います。又 R.I. 本部への報告用紙も各クラブへ参つて居る筈ですから之れに記入の上直に御報告願います。

○ 地区協議会 (District Assembly)

当第62区協議会は4月2-3の両日名古屋クラブがホストクラブとして名古屋で開催する事に決定した事は已に申し述べた通りです。地区協議会は次期の会長及び幹事に選挙決定した諸君に対し其一年の任期中如何に其職務を行うべきかを指導する、最も重要な会議であります。R.I. 会長からも其選挙に先立ち会長、幹事は必ず之れに出席の出来る会員を選ぶ様にとの前以ての注意がいつでもあるのを見ても分ります。又次期会長及幹事で之れに欠席した時には其理由を示さなければならぬ事になつて居ります。故に次期会長又は幹事に選ばれた諸君は何れ其案内は名古屋クラブから個々に御届け致しますから必らず出席出来る様御準備置き願います。

○ 米山奨学金 (Yoneyama Fund)

米山奨学金の準備委員会が委員長東京クラブ穂積重威氏司会の下に1月16日東京帝国ホテルで開かれました。協議の結果昨年10月の第62区大会に於ての米山奨学金に各クラブは参加するとの決議に基き本年1月1日現在の各会員は一月以降毎月金50円を醸出する事に決定しました。依つて各クラブ幹事は半年分金300円宛を(本年1月1日現在会員)下記へ御送金願います。

東京 三井銀行京橋支店 米山資金 普通預金口座

何れ具体的計画を建て、文部省に申請其認可を得て財団法人米山資金(仮名)を設立する予定であります。財団法人設立の申請には基金の必要もあるので米山奨学資金参加の決議をした、第60区及び第62区では本年1月より前記の如く醸出をする事に致したのであります。御諒承願います。

尚現在奨学中の留学生はタイ国よりラタナチャタ君、インドよりイーペン君の2名であります。

○ 会員証 (Membership Card) の替書

ロータリークラブ会員証は毎半期に本部負担金を納入すると共に書き替える事になつて居ります。各幹事は会員証に1956年6月30日迄の本部負担金の払込を其該当欄に記入の上署名して各会員に御渡し願います。此会員証は他クラブへ出席の場合自己のクラブの会員である事を証明するに必要なものであります。

○ 公式訪問の感想

(Impression on Official Visits)

1月25日に魚津クラブを公式訪問しました。魚津クラブは創立されてからまだ余り日も立たないのに昨年9月10日夜市中から火を發しました。折り柄の大風に煽られて瞬く間に町の中心部の殆どを焼き尽くし実に惨状を呈し其時のクラブの会員22名中11名が罹災され御同情に堪えない次第でありました。其当時の模様を聞きますと高野幹事も全焼の厄に遭はれましたが其直後のクラブ例会日には会場に赴き其手配をして兎に角休会をせず会員も半数近く集つて来て復興救済の協議をせられたとの事でありました。市中の焼跡はまだ大部分其儘で復興して居ります。各会員も復興に日夜尽瘁されて居る為め、ロータリーも例会は休まず開会はして居りますが未だ其綱領の貫徹には遺憾の点もあります。併し罹災直後に於ても例会を開いて復興救済の協議をせられたのはロータリー精神の発露の熱意があつたもので賞讃に値するものであります。今回の訪問に於て各会員もロータリーの理想目的を理解され 今後はロータリーの伸展に又奉仕の実を挙げようとの決意を新にせられ、且同市を中心とする附近の宇奈月及滑川市よりも会員を獲んと固く一同が述べらるゝに至りましたので同クラブも今後は市の復興と共に面目を一新すると思ひます。

次に蠣波クラブを訪問しました。此クラブも創立の日浅く又附近の町々を其地域として居るので未だよく纏つて居らない様にも認められました。併し社会奉仕に職業奉仕に種々の計劃も実施して、四つのテストを印刷して地域内小、中、高の学校135校に配付し又青少年の指

導として蠣波外三高等学校の代表者12名を招き意見を交換して其善導に努めて居られます。今後の計劃に於ては大に立派な計劃も建てゝ居られ今回の訪問でもロータリーの目的、奉仕などに就き熱心なる質問も出て今後の実行計劃も述べられておりますから 今後は有望なるクラブとなられると思ひます。

浜松クラブを1月30日に訪問しました。此のクラブは古いクラブで 戦后再編成された大きなクラブであります。浜松市は産業都市として非常に積極的で益々大きくなつて行く所である事とて此クラブも亦ロータリー活動に大に活発であるのに感銘しました。殊に近郊の農家に牝の豚仔を家畜保険を付けた上で貸付けて繁殖させ之から生れた牡仔豚の売却代金は農村子弟の奨学資金に充てる等 一石二鳥の結果を奉ぐる様にされて居り、此貸付を漸次増加するの計劃を立てゝ居りますが之れは都市と農村の関係を密にするものであります。又学校への会員の慰問及び点字文庫の寄附等の奉仕は農村への奉仕と共に大に賛意を表するもので感銘した次第です。四つのテストに付いては小マツチに印刷して多方面に配布して居られます。之れ亦実效があると存じます。今後共各会員挙つて奉仕の実を挙げらるゝ様祈ります。又益増大して行く市の趨勢に対し第二クラブ結成の企てもある様ですが是非地域内に尙一つのクラブを結成に努力される様切望して己みません。

次に沼津クラブを訪問しました。此クラブも伊豆駿東方面に於て大に有力なるクラブであります。非常にロータリー活動に真摯且誠心な会員もあつて社会奉仕は農村方面に又青少年関係に力を入れて居られ、其現れの一つとして各農家の集会の時出向いてロータリーの目的を話し例会には農村の有力者を招待して親睦を謀り青少年関係ではボーイスカウトを大に援助其運動に協力して居られます。又ロータリーの伸展としては現会長は此点に非常に熱を持ち已に附近に三つのクラブを結成せられ今も新クラブの結成に努力せられて居ります。今後も此方面に於て尙多くの新クラブの結成に其力を尽される様切にお願い申します。

伊藤クラブを次いで訪問しました。此クラブは生誕后

日もまだ浅いが会員間には非常によく纏つて居り社会奉仕に於ても其实を相当挙げて居られます。即ち伊東保養所、市内に在る東京都健康学園を已に数回慰問し交通定金の為めの多数の道路標識の寄附等各個人的にも奉仕を実行し職業奉仕方面に於ては会員は各の職場を訪問して各自の職業の向上を図りて従業員にもロータリーの精神を涵養する等種々ロータリーの目的達成に各努めて居られるには大に感激しました。会員も増加を考へて居り質も大に優良なるクラブとなられるを想い益ロータリーの綱領に副ひ発展せられん事を祈ります。尚各クラブにお願いするのはクラブ定款及細則を常に続めたい事です。R.I. 会長ラング氏の指導目標にももつとロータリーをとあります。之れを胸に留めて常にロータリーの理想を実践窮行される様願います。

○ 一日講習会

(One day Institute in Nagoya)

一日講習会は1月12日小松カウンセラー講師の下に名古屋で開催せられた。当地区内各クラブの会長幹事及び他の会員参加、出席者155名の盛会で午前9時より午後5時まで懇切丁寧なる小松講師のロータリーの各般に対する講義を聴き之れに対し各会員よりの質問討論、実に凡て熱心溢るゝ許り、各会員の真摯なる研究心の瑛盛なるには感銘致しました。参加会員諸君も一日講習会が如何に効果ありしかを如実に感得せられた事と思います。パスト、ガバナーの柳瀬、伊藤両君亦会員の質疑に応答其針路を示された事に対し大に感謝するものであります。会員諸君は本日の成果を以て愈ロータリー精神に副い奉仕の実を挙げられん事を切望致します。只二、三のクラブでは都合悪しく会長又は関係委員長の参加せられなかつたのは遺憾の極みであります。尚終りにホストクラブとして種々御尽力下さいました名古屋クラブの会員諸君に対し深甚の謝意を表します。

○ インター シチー フォーラム

(Intercity General Forum in
Numazu and Matsusaka)

1月20日には沼津クラブがホストクラブとなり静岡県下の各クラブのインター シチー フォーラムを 静岡ホテルで開きました。松本及び飯田の両クラブも特に之れに参加、各クラブから会長幹事外多数出席、伊藤パストガバナーがリーダーとなられ、柳瀬パストガバナー及び盛田ガバナー ノミニーも出席頂いて討議、各会員からは活潑且建設的の意見も出て大に効果を挙げ有益でありました。各会員も此フォーラムに依り大に得る所があつたと存じます。今后愈奉仕に努めらるる様願います。

2月23日には松阪クラブがホストクラブとして三重県下各クラブのインター シチー フォーラムを 松阪市で開きます。伊藤パストガバナーがリーダーに当られ柳瀬パストガバナー、盛田ガバナー ノミニーも出席して頂きます。関係各クラブでは多数会員が振つて出席せられる様切望致します。

○ 1959年国際ロータリー大会

(1959 Convention)

1959年に於ける国際ロータリー大会は 米国紐育市で開く事に決定しました。其時日は1959年6月7—11日の5日間であります。

○ 1958亜細亜地域会議

(1958 Asia Regional Conference)

R.I. 理事会では1958亜細亜地域会議を1958年9月21—24日印度のデリー (Delhi, India) で開く事に決定しました。

○ ロータリー財團奨学資金寄附
(Rotary Foundation Fund)

クラブ名	拠金額	新会員 @ \$10-	旧会員 @ \$1-
一宮	¥ 3.600	1名	一名
伊東	97.200	27	—
桑名	7.200	2	—
名古屋	40.320	—	112
岡崎	15.840	1	34
富山	25.200	7	—
津島	7.200	2	—
横浜	14.400	4	—
横浜東	18.720	2	32
合計	229.680	46	178

(アルファベット順)

第62区 1957年 1月分 出席率表

今月 順位	クラブ名	例会 数	今月末 会員数	対期初 増減	出席率 出の 算上 会 員数	出席率
1	横須賀	4	42	+ 6	42	100.00
2	清水	3	39	+ 1	39	100.00
3	熱海	4	27	+ 3	27	100.00
4	津島	4	29	+ 3	29	99.08
5	一宮	4	41	+ 6	41	98.80
6	川崎	5	54	+ 2	54	98.52
7	沼津	4	45	=	45	98.34
8	伊勢	3	32	+ 2	32	98.00
9	藤沢	4	26	+ 2	26	98.00
10	半田	4	31	+ 1	31	97.58
11	高岡	5	35	+ 1	35	97.10
12	伊東	4	27	=	27	96.30
13	名古屋西	4	51	+ 4	51	95.09
14	上野	4	35	+ 1	35	95.00
15	豊橋	4	48	+ 1	47	94.69
16	浜松	3	50	+10	50	94.62
17	岡崎	5	35	=	35	94.29
18	岐阜	4	49	=	48	94.28
19	大垣	4	36	=	36	93.75
20	横浜	3	97	+ 2	94	93.69
21	四日市	5	50	- 2	50	93.48

22	名古屋	3	114	+ 2	113	93.21
23	静岡	4	49	+ 1	49	91.92
平均出席率						91.91
24	富山	4	49	+ 2	49	91.85
25	小田原	4	31	=	31	91.60
26	蒲郡	4	26	+ 1	26	91.35
27	多治見	4	31	+ 6	31	91.24
28	吉原	4	34	+ 1	34	91.18
29	松阪	4	39	=	39	90.38
30	桑名	4	36	=	36	90.27
31	横浜東	4	32	=	32	89.84
32	尾西	4	29	+ 9	29	89.66
33	礪波	4	27	=	27	87.96
34	刈谷	4	29	+ 2	29	87.94
35	金沢	4	72	=	72	87.16
36	津	4	37	+ 2	37	86.48
37	松本	4	29	- 3	29	86.21
38	甲府	4	40	+ 1	40	85.62
39	七尾	3	23	+ 4	23	85.52
40	美濃	4	21	=	21	84.52
41	小松	4	33	- 2	33	81.06
42	魚津	3	23	=	23	81.06
43	飯田	4	33	+ 8	33	79.55
44	高山	5	28	- 1	28	77.86
合計		—	1.744	+76	1.738	91.91

ATTENTION TO THE



THE FOLLOWING INFORMATION IS FOR YOUR INFORMATION ONLY

1. The following information is for your information only.

2. The following information is for your information only.

3. The following information is for your information only.

4. The following information is for your information only.